

特定非営利活動法人
障がい者相互支援センターMCP

障がいがある学生への学習支援事業
に関する実施報告書



もくじ

1. ごあいさつ	3
2. 法人概要	5
3. 助成事業報告書	8
①ノートテイカー、パソコンテイカーの育成・派遣	
②障がい者並びにその支援者を対象とした相談	
③シンポジウム	
4. 事業成果	21
5. まとめ	30
6. 終わりに	32

1. ごあいさつ

特定非営利活動法人
障がい者相互支援センターMCP

理事長 山崎 安則



拝啓 春光天地に満ちて快い時候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

このたび、2012(平成24)年度独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業の助成を受け、障がい学生情報保障に関する支援に取り組んできた成果を報告及び講演・情報交換会として「MCPシンポジウム」を開催させていただくことになりました。

MCPスタッフ一同、心より感謝申し上げます。

さて、私ども特定非営利活動法人障がい者相互支援センターMCP(Mutual Con Passage)は、2012年2月に立ち上げたばかりで、まだまだ経験と実績の浅い新米の法人です。この1年皆様方のご支援とご協力により地元福岡市都市圏をはじめ熊本市の大学からの支援要請も入るなど、着実にMCP活動への第一歩を踏み出したところです。

私達MCPの理念は、ノーマライゼーション社会の実現にほかなりません。その実現に向けて、私たちMCPは、障がいを持つ学生が等しい情報保障条件のもとで周囲の学生と共に繋がり、支え合って学べる環境づくりをめざすことを目的にしています。

具体的には、①教育の場において、障がい学生・支援学生と学校側とのかけ橋となり、「障がい学生支援室」としての役割を果たします、②障がい学生、教育機関へ支援法方法についての積極的な情報提供が行えるよう努めます、③障がい学生・支援学生からの意見・要望を支援活動に積極的に反映できるように努めます、などの行動指針を立てて取り組んでいます。

事業としては、①障がい学生支援者の育成・派遣事業(障がい学生支援をしてみたい学生を対象に、実際の授業で情報保障支援ができるよう育成し、学生生活を送りながら円滑に支援活動ができるよう、コーディネートの面でサポートします。)、②障がい学生および支援学生の相談員派遣事業(障がい学生と支援学生がスムーズな学生生活を過ごせるよう、障がい学生や支援学生のための相談員を派遣します。)、③障がい学生支援研究・啓発活動事業(障がい学生支援の方法に関する研究・啓発活動を通して、障がいについての正しい理解や学習支援の必要性を地域社会へ広めていく活動を行います。)などを実施する。さらに上記の他にも、必要に応じてさまざまな障がい学生支援サービスを提供していきたいと考えています。

こうした私たちの活動は、情報保障と呼ばれる聴覚に障がいを持つ学生への支援の一部ではありますが非常に大切なものです。少子化により日本の大学は全入時代に突入したと言われる中、果たしてどれだけの障がいを持つ学生が合理的な配慮のもと十分な教育が受けられているのでしょうか。残念ながら現在、九州のほとんどの大学等の高等教育機関では、障がい学生に対する支援が遅れていることも事実です。

ちなみに、障がい者の高等教育を受ける権利に関しては、障害者の権利に関する条約、「第24条 教育」には、締約国は、教育についての障害者の権利を認める。締約国は、この権利を差別なしに、かつ、機会の均等を基礎として実現するため、次のことを目的とするあらゆる段階における障害者を包容する教育制度及び生涯学習を確保する(以下、条文省略)とあります。

また、発達障害者支援法第8条では、第2項において特に高等教育機関の配慮義務に触れ、「大学及び高等専門学校は、発達障害者の障害の状態に応じ、適切な教育上の配慮をするものとする」と規定しており、大学等に発達障がい者を有する学生が増加している状況に鑑み、十分に留意する必要がある。との旨の通知をしています。こうした背景のもとわが国では「障害者の権利条約」の批准に向けて国内法の整備が進められているところです。

2012(平成24)年6月文部科学省では、障がいを持つ学生の高等教育機関で学ぶ権利保障に向けて、「今後の高等教育段階における障がいのある学生の修学支援の在り方について検討を行う」ために、新たに「障がいのある学生の修学支援に関する検討会」を立ち上げました。

時折しも、その「障がいのある学生の修学支援に関する検討会報告(第一次まとめ)」が通知されたところです。

今回の「障がい学生支援に関するシンポジウム」の開催が、障がい学生支援担当者及び学生、進路希望の障がいを持つ中・高校生、保護者、障がい学生支援、MCPIに携わっている関係者・団体への支援・連携の強化と正しい理解につながる契機になることを期待しています。

私たちのNPO法人立ち上げには、福岡県NPOボランティアセンターをはじめ各方面の方々のご支援とご教示をいただきましたことに、心より厚くお礼申し上げます。お陰さまで2年目を迎えることができますが、これからも発足当初の熱い思いと理念を忘れず、身の丈に合った活動に丁寧な誠意を持って取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞ引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

2. 法人概要



MCP・・・Mutual con passage
(ミューチュアル・コン・パッセージ)

「相互につながりあう」

「学びたいを支援する」をミッションに、障がいがあっても、なくても、平等に学べる環境づくりを目指しています。

MCPは障がい学生と、支援を行う学生のサポートを行い、学生が相互に支援をする環境を作るため、「支援室」の役割を担っています。

障がい学生支援に関する講座を開き、学生の育成をしたり、フォローアップ講習を実施し、新しい情報を伝えるとともに、支援技術の向上も目指しております。

障がい学生、支援学生が抱える不安や悩みを解消したり、お互いが歩み寄り、それぞれが支えあう関係づくりを一緒に作り上げていくとともに、学内に支援室がなくても、学生団体と大学、MCPが学外からつながりあうことで、3本柱となり、新しい障がい学生支援のありかたを目指しています。

また、理解・啓発活動の一環として、様々な障がいをもつ当事者による講演会等を開催し、広く多くの方に知っていただけるよう活動しています。

さらに、障がい学生支援のための研究事業として、障がい学生支援に関する研究、障がい児のための学習支援教室と教材開発など、子どもから大人までの「学びたい」を叶えるため、日々活動を行っております。

支援する側・受ける側が相互に支え合い、社会へ出た際に、身に付けた力を大きく発揮できる、そのような人材の輩出を目指しています。

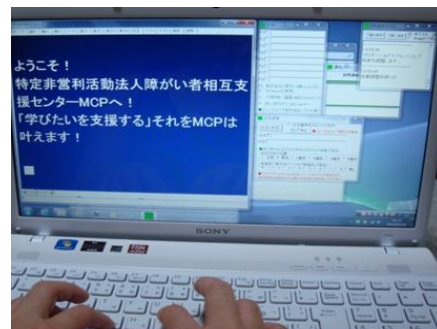
また、それによって障がい者差別がなくなることを目標としています。



団体人数（H24年度3月現在）

理事・・・3名
監査・・・1名
正会員・・・18名
賛助会員・・・5名
賛助団体・・・2団体
寄付者・・・42名

2013年3月現在



—相互に繋がりが合い、共に成長していけるように—

MCPの活動

行動指針

私たちMCPは

- ①教育の場において、障がい学生・支援学生と学校側とのかけ橋となり、「障がい学生支援室」としての役割を果たします
- ②障がい学生、教育機関へ支援法方法についての積極的な情報提供が行えるよう努めます
- ③障がい学生・支援学生からの意見・要望を支援活動に積極的に反映できるように努めます

「相互に支えあい」「共に学ぶ喜びを分かち合える」

共生社会の実現に貢献できる人材の輩出を目指します

事業案内

障がいがある方への学習支援

- ・音声、映像資料等の文字起こし
- ・ノートテイク、パソコンテイクの育成(講習会)・派遣
- ・障がい学生および支援学生の相談
- ・障がい児のための学習支援教室

障がい者の学習支援の研究&研修

- ・支援研究・啓発活動、講演会
- ・学生主体の支援者コーディネート
- ・障がい児のための学習支援教材開発

など



活動実績

2012年2月 法人設立 法人化へ

- 3月 愛媛大学(CBP、バリアフリー推進室) 視察
- 4月 独立行政法人福祉医療機構 助成事業開始
長野サマライズ・センター 研修
- 5月 筑紫女学園大学 講義
- 7月 福岡教育大学 障害学生支援室 視察
- 8月 福岡高等聴覚特別支援学校「第8回情報サポート講習会」
講演
- 9月 福岡県立直方聾学校 講演
福岡教育大学 ノート(パソコン)テイク・字幕挿入入門講座 参加
- 10月 西南学院大学 ノートテイク講習会
- 11月 パソコンノートテイク講習会 開催
福岡教育大学 視聴覚教材への字幕挿入情報交換会 参加
- 12月 PEPNet-Japan第8回シンポジウム 参加(愛媛大学)
福岡県立小倉聴覚特別支援学校 講演
事務局 研究・研修事業(みこクラブ)
(早瀬道場、NPO法人大塚クラブ、金町学園への見学)
冬期講習(みこクラブ) 実施



2013年2月 福岡盲ろう者友の会設立10周年記念式典 参加

- 熊本学園大学講習
- 3月 MCPシンポジウム
九州産業大学への講習(予定)
春期講習(みこクラブ) 実施予定

Mutual Con Passage

— 相互に繋がり合い、共に成長していけるように —

MCPとは Mutual Con Passage(相互に繋がり合う)の略称です。

私たちMCPは、障がいを持つ学生が等しい条件のもとで周囲の学生と共に繋がり、支え合って学べる環境づくりをサポートします。

MCPの行動指針

- ◆教育の場において、障がい学生・支援学生と学校側とのかけ橋となり、「障がい学生支援室」としての役割を果たします。
- ◆障がい学生、教育機関へ、支援方法についての積極的な情報提供が行えるよう努めます。
- ◆障がい学生・支援学生からの意見・要望を支援活動に積極的に反映できるよう努めます。

「障がいがあっても共に学べる」環境づくりをサポートします！

事業内容

私たちMCPが提供するサービスの一部をご紹介します。
コーディネートと障がい理解・啓発活動を基本の柱とし、利用者の皆さまのさまざまなニーズに応じたサービスを提供いたします。



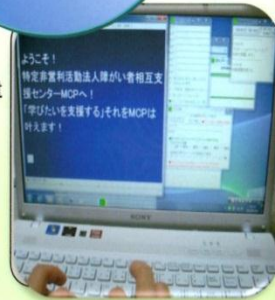
障がい学生支援者の育成・派遣
障がい学生支援をしてみたい学生を対象に、実際の授業で情報保障支援ができるよう育成し、学生生活を送りながら円滑に支援活動ができるよう、コーディネートの面でサポートします。

Coordinate コーディネート サポート

育成・派遣 連絡調整 仲介 など

障がい学生および 支援学生の相談員 派遣

障がい学生と支援学生がスムーズな学生生活を過ごせるよう、障がい学生や支援学生の相談員を派遣します。



障がい学生支援研究 啓発活動

障がい学生支援の方法に関する研究・啓発活動を通して、障がいについての正しい理解や学習支援の必要性を地域社会へ広めていく活動をおこないます。
(愛媛大学視察 H24.3)

Enlightenment Activity

障がいの 理解啓発活動

支援研究 講習会開催 など



上記以外にも、さまざまな障がい学生支援サービスを提供しております。

くわしくは下記のホームページをご覧ください。

また、事業内容についてもっと詳しく知りたい場合は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ

特定非営利活動法人

障がい者相互支援センターMCP

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町 13-50
福岡県吉塚合同庁舎 5階
福岡県 NPO ボランティアセンター

メール

mcp_jimukyoku@yahoo.co.jp宛

<http://mcp2012.web.fc2.com>

ホームページ

「お問い合わせ」から

ホームページは

障がい者 mcp HP

検索